

1 月医療安全ニュース

2017 年 1 月 23 日 あおもり協立病院医療安全管理室

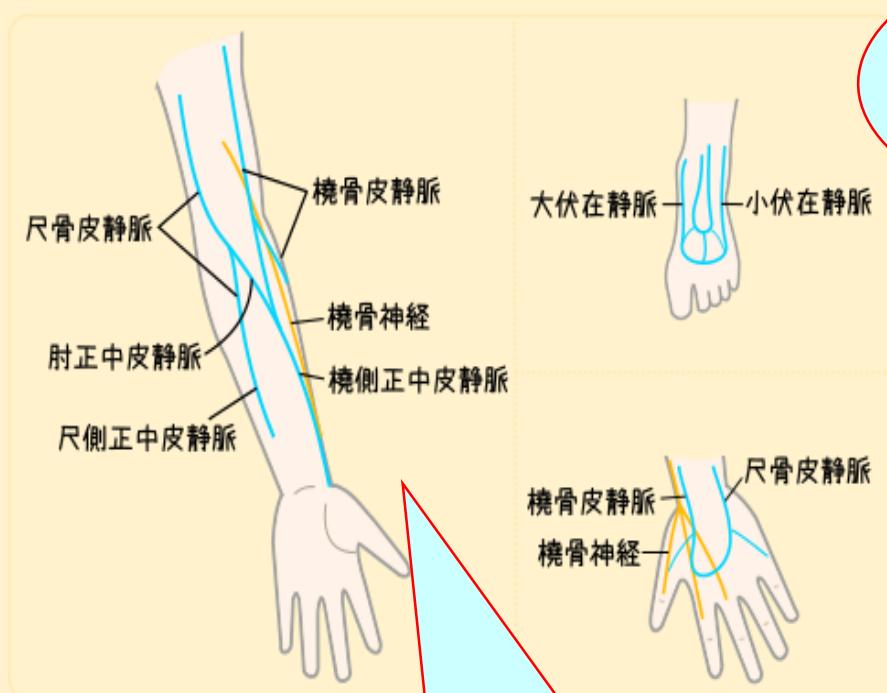
注射・採血時の神経損傷に注意！！

2016 年 12 月のレポート報告より 事例 No. 44 Lv 1

注射をしようと針を刺したら、血管に入らず神経に触ったようで、痛いと言った患者から訴えがあった為、すぐに抜針した。

【発生した部署での対策】血管がきちんと見える部位を選ぶ。神経損傷について理解しておく

▼ 穿刺部位 血管と神経の走行 — 静脈 — 神経



△部 橈骨茎状突起の付近の静脈には、**橈骨神経の浅い枝が走行している**ので、**刺入をさける！！**



橈骨皮静脈の奥には、**橈骨神経が走行**しているため、**深く刺入しない！！**

最も一般的な部位は、尺骨皮静脈・肘正中皮静脈・橈側皮静脈であり神経損傷の危険が少なく、刺入に伴う痛みも少ない

痛み・しびれを訴えた時の対応

(医療安全マニュアルより抜粋)

- ・直ちに針を抜く。疼痛・しびれの部位・有無を確認し記録する。気分不快時は臥床させる。
- ・抜針後 10～30 分しても痛み・しびれが持続の場合は、医師の診察をうける。神経損傷について説明する